

2026年6月18日

新しい学習指導要領について話し合っているみなさまへ

(中央教育審議会 初等中等教育分科会 教育課程部会
教員養成部会 部会長 秋田喜代美殿 貞弘斎子殿)

広げよう！子どもの権利条約キャンペーン
共同代表 甲斐田万智子、喜多明人、野村武司

【子ども向け版】 教員を育てるしくみについての要望書 ～子どもの権利を教えられる先生を育ててください～

学校で子どもの意見や権利が大切にされるためには、先生自身が子どもの権利について学び、子どもの気持ちを理解できることが大切です。

私たち「広げよう！子どもの権利条約キャンペーン」は、先生になる人や、先生として働いている人が学ぶ内容の中に、次の5つを取り入れてほしいと考えています。

要望 1. 先生になる人が、子どもの権利について学び、子どもの権利を大切に授業や学校づくりができるようにする

私たちは、先生になる人みんなが子どもの権利について学ぶことが大切だと考えています。

先生には、

- 子どもの権利とは何か
- 子どもの意見を大切にすること
- 子どもが自分で学び方を選んだり考えたりできるように支えること
- 子ども一人ひとりにとって何が一番よいかを考えること

を学んでください。

そうすることで、子どもの権利が大切にされる授業や学校づくりにつながると考えています。

要望 2. 先生が、子どもにも権利があることを正しく理解できるようにする

私たちは、先生が「子どもにも権利がある」ことを正しく理解することが大切だと考えています。

子どもには、自分の考えを伝えたり、安全に生活したり、大切にされたりする権利があります。これらの権利は、「義務を果たした人だけが持てるもの」ではありません。

また先生には、子どもたちが自分の権利だけでなく、ほかの人の権利も大切にできるように教える方法を学んで子どもに教えられるようになってください。

要望 3. 先生が子どもの話をよく聞き、気持ちを理解できるようにする

私たちは、先生が子どもの気持ちや考えを理解する力を身につけることが大切だと考えています。

子どもの気持ちは、言葉だけでなく表情や行動にもあらわれます。

そのため先生には、

- 子どもの話をしっかりきくこと
- 気持ちや様子に気づくこと
- 安心して話せる環境をつくること

ができるようにしてください。

要望 4. すべての子どもが安心して過ごせる学校をつくる

私たちは、子どもが安心して学び、生活できる学校づくりが大切だと考えています。

そのため先生には、

- いじめや暴力を防ぐこと
- 子どもの安全を守ること
- 困ったときに相談できる環境をつくること
- 子どもの意見を大切にすること

について学べるようにしてください。

子どもが安心できる学校では、自分の意見を伝えたり、友だちと協力しながら学んだりしやすくなります。

要望 5. どんな子どもも差別されず、大切にされる学校にする

学校には、いろいろな子どもがいます。

たとえば、

- 障害のある子ども
- 病気のある子ども
- 外国につながる子ども
- さまざまな文化や背景を持つ子ども

などです。

私たちは、どんな子どもも差別されず、安心して学べる学校にしてほしいと考えています。

また、「その子が悪いから困っている」のではなく、まわりの環境やルールが原因で困っていることもあります。そうした困りごとをなくすために、学校や社会をよりよくしていく考え方を先生が学べるようにしてください。

私たちは、この 5 つが実現することで、子どもの権利が大切にされ、どの子どもも安心して自分らしく学べる学校になることを願っています。

以上